

	<p>西東京市立ひばりが丘中学校 第2学年 第3号 令和6年4月16日発行</p>
---	---

2年生になって

始業式から一週間が経ちました。係や委員会も決まり、少しずつではありますが、新しいクラスに慣れてきました。日々新しい仲間の良いところを発見していけるといいですね。

今年の入学式には、4年ぶりに在校生が参加しました。2年生だけの参加となりましたが、上級生としての意識をもちながら、立派にやり遂げることができました。会場づくりも2年生の役割でしたが、卒業式の準備に引き続き、テキパキと終わることができました。仮入部も始まり、ますます先輩としての意識が芽生えてきているのを感じます。

「2年生になって」作文を書きました。全員の作文を紹介したいくらい、前向きな気持ちが詰まっています。今の気持ちを忘れずに頑張っていきましょう。



入学式では会場づくりの他に旧生活委員が新入生の教室案内、旧学級委員が来賓誘導、新入生入場の先導などで活躍しました。

<敬称略>

「なりたい自分への一歩」

A組

私は二年生として「あいさつ」と「自分から」という二つの点を特に意識して過ごしたいです。そして、なりたい自分を目指し、精進したいと思います。

まず、私は一年生のころから学級委員をやっていました。しかし「なった」だけでは意味がないとわかりました。実際、委員会に行ってみるとみんな元気でハキハキとしていて、想像力豊かに意見を言っていました。それでも、私には勇気が足りない部分があり、言いたいことも言えないことが多くありました。だから、私は「自分から」行動できるように、初めは「あいさつ」から心がけていこうと思います。なぜなら「あいさつ」はすれ違う人間問わず、誰にだってできる身近なことだからです。そんな「あいさつ」をためらうことなく、言えるようになったら自然と「自分から」「自主的に」行動できる人になれると考えます。そして、一年生のときのリベンジができるチャンスを逃さないよう二年生での学級委員もそれ以外の生活も変化させていきたいです。

これからは悔いを残さないように、恐れず、ためらわず、自分に正直になろうと考えます。さらに、「なりたい自分」になれば、自分の成長が周りの人に影響を与え、クラスや学年のみんなまで自主性の輪を広げていけるようになりたいです。

「あきらめる前に」

A組

私が二年生になって大事にしていきたいことは、困難に対して諦めず、真剣に取り組むことです。

私は一年生のころ、何か大変なことや、面倒なことになりそうなときは、大変なことを諦めたり、別の楽な方法で及第点を出して終わらせれば良い、という考え方をもっていました。

そんなある日、英語で自分の好きなものをスピーチすることになり、原稿やスライドなど、スピーチの準備をすることが宿題として出されました。私はいつものように、宿題が多い、部活が大変、などと自分に言い訳をして、そこそこの出来のものを完成させました。そんな出来のものでスピーチをしても満点をとれるはずもなく、結局あと少しというところで満点を逃してしまいました。一方私の友達は、「宿題が出されてすぐに準備して練習したから満点取れた！」と嬉しそうに私に話してくれました。そんな友達をみて、言い訳を並べて結局努力しなかった自分を恥じる気持ちと同時に、目標に向かって努力して、しっかりと結果を出した友達がとても輝かしく、かっこよく見えました。

大変なことを避け、別の楽な方法で及第点を出すということは、ときには正しい選択になることもあると思います。ですが、大変なことは自分の成長を助けることもあります。だから私は、何かをあきらめる前に、一度本気で取り組んでみることを二年生で大事にしていきたいです。



クラス分けの
名簿を受け取
りました

学年集会
の様子

